総合学力評価テスト　解答用紙　二〇二〇年度（読解表現総合）

受験番号
氏　名

2

(1)

(2)

写真を撮るのに大切なのは「着眼」であり、本を選ぶのも写真を撮るのも自分で判断することが、最も重要である点が類似している。

(3)

私が本を選ぶ時に最も大切にしていることは、本屋に足を運んで、自分の目で見て、手に取ってみるということです。

本屋でまず目にするのは、題名と裏表紙のあらすじです。興味を持つ内容か、おもしろそうな展開か、などを予測します。

次に意識することは、手に取った時の厚みや重さです。何となくですが、その本を読み進めるペースが想像できて、ネットなどの紹介だけではわからないことが感じられます。

そうやって本屋で本を選んで購入し、家に持ち帰ってあらためてページを開くと、先ほどとはちがったわくわくした気持ちになります。それは、何か新しい世界の入口に立ったような気持ちです。新しい生活が始まる時のような感じがして、心地よいものです。

本の中に書かれているのは、自分の経験したことがないような冒険や事件、出会ったことのない人々です。そして、読み終わると一つの体験をしたような気分になります。

読書は、私に色々な経験をさせてくれるものです。想像の中の経験ですが、考えることや感じることを増やしてくれるものです。これからも読書を通じて、自分の世界を広げていきたいと思います。

500

400